

常設展・トピック展の見どころ

秋田戦争と郷土の侍たち

常設展示コーナーには、ひときわ目立つ具足が展示されています。この具足は、秋田戦争に参加した安代地区の齋藤文次郎が実際に着用したものです。すねあてには、敵の槍を受けたときの傷が残っており、命がけで戦った様子を現在に伝えています。



紺地緞縮側胴具足

秋田戦争は、1868(慶応4)年の戊辰戦争時に、奥羽越列藩同盟(庄内藩(山形)、盛岡藩など)と、同盟を脱退した久保田藩(秋田)などの新政府軍が争いました。同盟軍は鹿角街道から進軍しており、安代地区からも出兵するなど、本市と関わりがあります。

盛岡藩家老・楡山佐渡ゆかりの地藏尊

トピック展「THE伝説－八幡平市ロマン紀行－」の「まぼろしの沢岡寺伝説」で木造地藏菩薩立像(県指定有形文化財)を展示しています。



木造地藏菩薩立像

本像は、秋田戦争で盛岡藩家老・楡山佐渡が久保田藩討伐に向かう道中、西根寺田の聖福寺で礼拝したとされる地藏尊です。

◎市内の伝説を取り上げたトピック展を開催中

トピック展「THE伝説－八幡平市ロマン紀行－」を開催しています。

■開催期間 3月25日(日)まで

■開催時間 午前9時から午後4時半まで(ただし入館は午後4時まで)

読書マラソンの結果発表

朗読を楽しむ会を開催

2月4日に朗読を楽しむ会および読書マラソン表彰式を開催し、56人が参加しました。



朗読を披露した皆さん

朗読を楽しむ会では、第20回記念少年

少女の詩「江間章子賞」受賞作の6作品が、詩の作者である児童・生徒によって元気に読み上げられました。

また、市朗読奉仕ほおずきの会は、群読「鹿踊りのはじまり」や岩手の民話「なら梨とり」などを朗読し、来場者は聞き入っていました。

◆平成29年度読書マラソン結果発表

昨年7月20日から12月28日にかけて行われた「読書マラソン」の結果を発表します。

読書マラソンは、期間中に読んだ本の冊数を競う

もので、今回の参加者は61人、総貸出冊数は2,794冊となりました。部門別1位の人とその貸出冊数は、次のとおりです。

部門	1位入賞者・貸出冊数
幼児読み聞かせの部	川村咲乃さん(共新)・139冊
児童1・2年の部	中塚紗良さん(両沼)・360冊
児童3・4年の部	中塚紗江さん(両沼)・238冊
児童5・6年の部	高橋史さん(間羽松)・176冊
大人の部	村上久美子さん(南寄木)・180冊

新着図書を紹介

書名	著者名
おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子
銀河鉄道の父	門井慶喜
浅田真央 私のスケート人生	浅田真央
愛しのから揚げレシピ94	今井亮